

- 《履修上の留意事項》1. 学生の都合を考慮しながら一部集中講義で実施する。  
2. 学内での演習の他に、地域ニーズ調査演習については学外での演習を伴う。

《担当者名》 大原 裕介 (客員) ohara@yu-yu.or.jp 近藤 綾香 (非) 石川 あゆみ (非)

【概要】

本科目は、地域における高齢や障害、病気や生活困窮など、自分とは異なる経験や暮らしをする人のニーズを、潜在的に存在するものも含め、適切かつ俯瞰的に把握する力を養う。また福祉的なニーズの把握だけではなく、地域経済や地域産業の「地域ニーズ」をも把握し、地域を循環させる持続可能な事業構築の思考と手法について、事業構想演習などを通じて身につけるものとする。

【学修目標】

1. 専門職としてベースとなる正義や価値観について学びを深める。
2. 地域における政策や制度、経済や産業構造・文化等を俯瞰的に把握し、どのような人がどのような暮らしをしているのかの状態を理解することができる。
3. 福祉分野にとどまらない必要な社会資源を見つけ、つなぎ、組み合わせ、活用し、地域経済を継続的に循環させる視点について理解を深め、ソーシャルアクションプランを構築することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	本授業のねらいについて共有する。	大原、近藤、石川
2	地域共生社会の政策理解	わが国における地域共生社会の実現に関する政策について理解する。	大原、近藤、石川
3	地域経済循環モデル事業の講義	地域経済を循環させている、いくつかの全国の先進モデルについて講義を実施する。	大原、近藤、石川
4	地域ニーズ調査演習.1	実際の地域における調査を実施する。 地域における政策や制度、経済や産業構造・文化等を俯瞰的に把握し、どのような人がどのような暮らしをしているのかの状態を理解する。	大原、近藤、石川
5	地域ニーズ調査演習.2	実際の地域における調査を実施する。 地域における政策や制度、経済や産業構造・文化等を俯瞰的に把握し、どのような人がどのような暮らしをしているのかの状態を理解する。	大原、近藤、石川
6	地域ニーズ調査演習.3	実際の地域における調査を実施する。 地域における政策や制度、経済や産業構造・文化等を俯瞰的に把握し、どのような人がどのような暮らしをしているのかの状態を理解する。	大原、近藤、石川
7	地域ニーズ調査演習.4	実際の地域における調査を実施する。 地域における政策や制度、経済や産業構造・文化等を俯瞰的に把握し、どのような人がどのような暮らしをしているのかの状態を理解する。	大原、近藤、石川
8	地域ニーズ調査演習.5	実際の地域における調査を実施する。 地域における政策や制度、経済や産業構造・文化等を俯瞰的に把握し、どのような人がどのような暮らしをしているのかの状態を理解する。	大原、近藤、石川
9	事業構想作成演習.1	地域ニーズ調査結果をもとに事業構想を作成する。 必要な社会資源を見つけ、つなぎ、組み合わせ、活用し、地域経済を継続的に循環させる視点について理解を深め、ソーシャルアクションプランを構築する。	大原、近藤、石川
10	事業構想作成演習.2	地域ニーズ調査結果をもとに事業構想を作成する。 必要な社会資源を見つけ、つなぎ、組み合わせ、活用し、地域経済を継続的に循環させる視点について理解を深め、ソーシャルアクションプランを構築する。	大原、近藤、石川

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
11	事業構想作成演習.3	地域ニーズ調査結果をもとに事業構想を作成する。 必要な社会資源を見つけ、つなぎ、組み合わせ、活用し、地域経済を継続的に循環させる視点について理解を深め、ソーシャルアクションプランを構築する。	大原、近藤、石川
12	事業構想作成演習.4	地域ニーズ調査結果をもとに事業構想を作成する。 必要な社会資源を見つけ、つなぎ、組み合わせ、活用し、地域経済を継続的に循環させる視点について理解を深め、ソーシャルアクションプランを構築する。	大原、近藤、石川
13	事業構想作成演習.5	地域ニーズ調査結果をもとに事業構想を作成する。 必要な社会資源を見つけ、つなぎ、組み合わせ、活用し、地域経済を継続的に循環させる視点について理解を深め、ソーシャルアクションプランを構築する。	大原、近藤、石川
14	事業成果報告 (プレゼンテーション)	各グループの事業構想のプレゼンテーション	大原、近藤、石川
15	まとめ	全体の振り返り	大原、近藤、石川

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

地域における事業構想プラン（80%） 授業に参加する態度や姿勢、行動力（20%）

【教科書】

ワークブックを使用する。（授業時に配付）

【学修の準備】

予習：マスメディア等で報じられる、人口減少・超少子高齢化社会であるわが国を取り巻く社会課題や社会問題に対し関心を寄せ、自分の考え方や意見を整理しておくこと。

復習：講義や演習で実施された内容について、自分が暮らす地域や取り巻く生活環境と照らし合わせて推察すること。

【ディプロマ・ポリシーとの関連】

DP4,3

【実務経験】

社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉法人ゆうゆうの理事長としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。